



「世界のバリアフリー絵本展
—国際児童図書評議会 2011 年推薦図書展—
の開催について



国立国会図書館国際子ども図書館では、バリアフリー絵本やその必要性に対する理解を深めるため、国際児童図書評議会（IBBY、本部スイス）の日本支部である社団法人日本国際児童図書評議会（JBBY）との共催で展示会を開催します。

IBBY 障害児図書資料センターは、障害のある子どもたちも楽しむことができるように作成されたバリアフリー図書の中から、2年に一度、特に優れた作品を選んで推薦図書リストを作成し、各国で巡回展を行っています。

今回、国立国会図書館国際子ども図書館では、手話や点字付きの絵本をはじめ、触れて楽しむ布の絵本、障害のある子どもが登場する本など、2011年に選定された世界18か国の60作品をご紹介します。資料はすべて、直接手にとってご覧いただけます。また、会期中に、所蔵資料による関連小展示も行います。

会 期： 平成 24 年 7 月 31 日（火）～8 月 26 日（日）
（休館日：月曜日、資料整理休館日（8/15））
開催時間： 午前 9 時 30 分～午後 5 時
会 場： 国立国会図書館国際子ども図書館ホール[3 階]
（台東区上野公園 12-49 Tel : 03-3827-2053）
入 場： 無料

※報道に際して国立国会図書館国際子ども図書館の名称を表記する場合は、「国際子ども図書館」のように略さずに「国立国会図書館国際子ども図書館」と表記していただくよう、お願い申し上げます。

■お問い合わせ先

国立国会図書館国際子ども図書館 企画協力課 企画広報係 Tel. 03-3827-2041（直通）

《おもな展示資料》

○手話付き絵本

『Raccontare con le parole e con le mani』(ことばと手でおはなしして)

Bonomi, Marisa 文 Pietta, Cristina 絵

Sinnos soc. Coop. sociale ONLUS、2008年/イタリア

イタリア手話を含む数種の言語によって書かれたわらべ歌の絵本です。聞こえ方に障害がある子どもと、そうでない大人と一緒に楽しむことができます。

○BLISS つき絵本 『Hauska Matka』(たのしい旅)

Huikari, Susanna 文 Kolehmainen, Mika 絵

Lohipadon yksikkö、2010年/フィンランド

普通の文字と BLISS (非言語絵文字システム) が併用されています。魅力的で生き生きとした絵を助けとして、多様なニーズやスキルの状態の読者が楽しめる作品です。

○布の絵本 『abc』

Rudman, Lynette 作

I read with my hands、2010年/南アフリカ共和国 イタリア フランス

南アフリカ、イタリア、フランスの出版社が共同で製作した子どものためのファーストブックシリーズの1冊。異なった材料、形、肌触りにより多感覚を刺激する手法で作成された、すべての子どもたちが楽しめる布の本です。

○やさしく読める図書 『Pass deg, Line!』(気をつけて リーネ)

Kvam, Marit Hoem 作 Henriksen, Cici 語り

Lydbokforlaget、2009年/ノルウェー

ディスレクシア(*)などのように、読んだり書いたりすることが困難な人たちは、読んで理解したり読書のスキルを習得するのに、人より時間と労力を必要とします。そのような労力を半減し、年齢にふさわしいテーマで書かれたやさしく読める図書を幅広く提供することが求められます。この本は、人間関係の難しい問題をわかりやすい言葉で扱っています。知的障害のある若者や、もっと年長の人たちにとっても読みやすく書かれたお話です。

(*) 学習障害の一種で、知的能力および一般的な理解能力などに特に異常がないにもかかわらず、文字の読み書き学習に著しい困難を抱える障害

○「障害」が描かれている図書 『Out of my mind』(私の気持ちを知って)

Draper, Sharon M. 作

Atheneum Books for Young Readers、2010年/アメリカ

脳性まひで言語障害のある主人公メロディーは、言いたいことや考えていることを言葉に変えるコンピュータ Medi-talker を買ってもらい、それを使うと周囲の人たちは彼女の頭の良さに気づき始めるというストーリーです。私たちにとっても新しい世界を知る、貴重な体験になります。